

これからの泉中央エリア※のまちづくりで目指したい姿・状態（案）

※ここで言う「泉中央エリア」とは泉区役所～七北田公園までを中心とした南北軸の範囲を想定しています

「泉中央地区の賑わい創出に向けた意見交換会」及び「泉中央地区の活性化に向けた学生ワーキング」であげられた意見、泉中央エリアの特性（人口など）を踏まえて、泉中央エリアのまちづくりで目指したい姿・状態の案を整理しました。

泉中央エリアのまちづくりで目指したい姿・状態（案）

- 1 子育てがしやすい
- 2 住み続けたいくなる
- 3 安全で安心感がある
- 4 買い物がしやすい
- 5 通いたくなるお店が多い
- 6 豊かなパークライフがあり、ペットとも楽しめる
- 7 天候によらず楽しめる
- 8 ほどよい賑わいがあり、歩きたくなる
- 9 思い出に残る体験や風景がある
- 10 誰もがやりたいことにチャレンジできる
- 11 家のほかに居心地の良い場所がある
- 12 多世代が楽しめる/活躍できる
- 13 多彩な目的地・イベントがある
- 14 何度も訪れたいくなる
- 15 1日を通して楽しめる
- 16 誰もが思い思いに過ごせて、一人でも大人数でも楽しめる
- 17 交通手段の選択肢が多く、スムーズに移動できる
- 18 スポーツ・文化芸術に親しめる
- 19 情報の発信拠点がある
- 20 地域一体でまちづくりに取り組んでいる

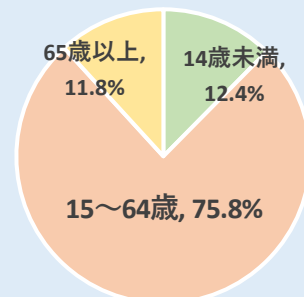
泉中央エリアの特性（人口など）



泉中央エリアの機能イメージ
(泉区役所建替事業基本計画より)

泉中央地区の人口※
約9,000人

※ここで言う人口は令和2年国勢調査に基づく泉中央1～4丁目の人口を示します



<その他 人口の特徴>
※令和2年国勢調査より

民間の借家に住む
単独世帯が多く、
居住期間は1年以上
5年未満と短い人が多い

現在の泉中央エリアの印象（抜粋）

- 日中は静かで落ち着いた雰囲気。イベント時やスポーツの試合開催時は賑わう
- お店が多く、生活用品が一通り揃う
- 高齢者層、ファミリー層が多いイメージ
- 高校生など若者世代が集う場所が限られている。若者向けのコンテンツが少ない
- 朝と夕方は通勤通学の利用者が多い
- 交通利便性が高いが、移動の中心地で人があまり寄らない
- 泉中央駅から七北田公園方面への歩行者動線がわかりにくい
- イベント開催時には交通渋滞や駐車場不足が発生している
- 地元住民の利用者が多く、インバウンドなど県外からの来訪者が少ない

10年後の泉中央エリアの理想の状態（抜粋）

- 地元の人たちが暮らし続けたい、自分のまちを好きだと思えている
- 子育て世代が選ぶ、東北で住みたいまちNo.1になっている
- 若者が過ごしたくなる居心地の良い空間がある
- 世代を問わず多様な人々が交流したり、リラックスして過ごせる場所がある
- 住民が自主的に動きやすく、まちが活性化するための仕組みができています
- 通勤通学だけでなく、友達や家族とも過ごしたくなる場所になっている
- スポーツ観戦やイベントに訪れた人がエリア全体を楽しんでいる
- 仙台駅前のなんでもある雰囲気とは違い、泉中央エリアならではの魅力ができています
- 日常のゆったりした雰囲気を活かして、その魅力が発信されている
- 多くの人が伸び伸びと活躍できる機会と場、応援する仕組みがある
- 泉にゆかりのあるコンテンツが活かされている（アニメ、羽生選手など）
- 人が集まる場所と静かに過ごすことのできる場所両方がある
- 訪れる目的を新たに創出する（ホテルなど不足している機能の誘致、モニュメント設置など）